

VI 心豊かな社会をつくる

4 自然、文化・歴史の保全と活用

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
257		三瓶小豆原埋没林 保存・活用事業	6,100	保存検討委員会の検討結果に基づき、 埋没林の保存対策を実施 [実施内容] 展示棟内の埋没林の劣化防止のため の保存処理と保存のための排水処理 施設整備	環境生活部 [自然環境課]
258		しまねの自然公園 満喫プロジェクト 推進事業	132,412 [うち補正] 10,000	大山隠岐国立公園をはじめ、県内の自然 公園において、国や市町村等と連携し、 快適な利用環境の整備や体験プログラ ムの造成、情報発信を行い、観光誘客を促進 (No.122 再掲) ①自然公園を活用した誘客促進補助金 自然公園を活用した体験プログラ ムの拡充や、周遊促進などの取組を 支援し、県内の自然公園への誘客を 促進 [助成対象者] ・しまねの自然公園満喫プロジェ クトを推進する地域協議会 ・観光協会 ・法人 ・法人格を持たない民間団体等 ※いずれも県内団体等に限る [助成対象経費] 事業の実施に必要な経費（商品 開発や販路開拓に必要な催行費、 導入運営費、活動費等） [助成率] 1/2 以内 [助成上限額] 500 万円 ②自然公園の魅力発信 国内外から誘客を促進するため、 県内の自然公園の魅力をホームペ ージ等で発信 ③受入れ環境の整備 遊歩道、案内標識など安全・安心で 快適に滞在できる環境を整備	環境生活部 [自然環境課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
259		隠岐ユネスコ世界ジオパーク活用推進事業	212,564 [うち補正] 14,000	隠岐ユネスコ世界ジオパークを活用した隠岐地域の観光振興・産業振興のため、(一社) 隠岐ジオパーク推進機構や地元町村等と連携して、ジオパークの認知度向上や来島者を増やすための情報発信、受入体制の整備を実施 (No.123 再掲) ① (一社) 隠岐ジオパーク推進機構による魅力向上のための活動、広報等を支援 ② 世界ジオパーク認定継続支援のため施設整備等を実施 ③ 隠岐の島町、海士町のジオパーク拠点施設、中核施設の整備を支援	環境生活部 [自然環境課]
260		レッドデータブック改訂事業	6,432	絶滅の危機に瀕している野生動植物の個体や生息・生育地などの保護・保全活動を推進するため、しまねレッドデータブックを改訂 [実施内容] 改訂委員会の開催及び調査、原稿作成	環境生活部 [自然環境課]
261		三瓶自然館等の魅力アップ事業	9,619	三瓶自然館における反射望遠鏡の設備更新や、三瓶小豆原埋没林公園における照明のLED化を実施	環境生活部 [自然環境課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
262		宍道湖・中海賢明利用推進事業	9,015	<p>宍道湖・中海の湖沼環境の保全と賢明利用を推進 (No.124 再掲)</p> <p>①水辺に親しむ環境教育・普及啓発事業 小中学生を対象とした宍道湖や中海に流入する身近な川の調査や、湖沼モニターによる湖沼環境の評価を実施</p> <p>②ラムサール・大型水鳥啓発事業 ・鳥取県と連携し、こどもラムサール交流会等を実施 ・水鳥観察会等の実施</p> <p>③大型水鳥を活用した広域ネットワーク支援事業 民間団体、関係市及び県で構成する協議会による、トキやコウノトリの生息環境づくりや普及啓発の取組を支援</p>	環境生活部 [環境政策課]
263		島根の歴史文化活用推進事業	33,974	<p>調査研究によって磨き上げた島根の歴史文化について、県関係部局、市町村及びゆかりの深い他県と連携しながら県内外に情報発信し、文化財保存継承の気運醸成や、島根の認知度向上につなげる取組を推進</p> <p>①県内各地の多様な歴史文化をテーマとした講座やシンポジウムの開催とオンラインによる配信</p> <p>②他県と連携して古代歴史文化に関する共同調査研究を実施し、その成果を全国に発信</p> <p>③萩・石見空港を利用した県内の歴史スポットをめぐるツアーの実施</p> <p>④県内7つ日本遺産の魅力を全国に発信</p>	教育委員会 [文化財課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
264		未来へ引き継ぐ石見銀山保全事業	80,042	世界遺産「石見銀山遺跡」を適切に管理し、未来へ継承していくため、調査研究、保存整備、情報発信を実施 (No.125 再掲) ①世界遺産総合調査研究事業 ・基礎調査研究 ・テーマ別調査研究 ②世界遺産保存整備事業 ・史跡等の整備・修理 ・拠点施設運営補助 ③世界遺産総合情報発信事業 世界遺産情報発信、講座等開催	教育委員会 [文化財課]